

認定 NPO 法人キッズドア

2023 夏 物価高騰に係る緊急アンケート 集計結果について

2023 年 6 月 認定 NPO 法人キッズドア理事長 渡辺由美子

食料品や日用品、光熱費等をはじめとする物価高騰の動きが、コロナ禍で影響を受けたまま回復できていない困窮子育て家庭に打撃を与えています。キッズドアでは、物価高騰とコロナ禍による困窮子育て家庭の家計、子どもの生活や学習、保護者の心身や就労等への影響を把握し、今後どのような支援が必要かを検討するため緊急のアンケート調査を実施しました。その結果、想像以上の深刻な結果が判明しましたので、以下にご報告します。

1. アンケート調査について（概要）

- 目的：物価高騰とコロナ禍による困窮子育て家庭への影響を把握し、今後どのような支援が必要かを検討する。
- 対象：キッズドアファミリーサポート登録世帯
- 調査期間：2023 年 5 月 30 日～2023 年 6 月 6 日
- 回答数：1538 件

2. 調査結果まとめ

- ✓ 回答者の 9 割が母子世帯で、8 割超が世帯年収 300 万円未満である。貯金がない家庭は 35%であり、また、45%の家庭が借り入れをしている。
- ✓ 食事面での不安も大きい。給食がなくなる夏休みに食事の不安があるという回答は約 9 割。2021 年の調査と比較しても、栄養や食事量についての不安を回答する割合は高くなっている。（子どもに十分な食事を与えられない 21 年 46%→23 年 60%）
- ✓ 日々の食事の変化も深刻であり、子どもの成長に必要な肉・魚、野菜、乳製品を減らしている家庭は半数に上る。子どもに食べさせるために親が食事を減らしたり抜いたりしているという回答も半数に達しており、家庭の栄養状態は最悪の状態になりつつある。
 - 食費についても調査をしたが、全国平均（2019 年全国家計構造調査）と比較してこれらの家庭は相当低い食費で生活していることが判明した。（2 人家族の 1 ヶ月の食費は、1.5～2 万円が最多で 19%。2 万円以下で 42%）
- ✓ 物価高の影響はほぼ全ての家庭で感じられている。食費・光熱費等は切り詰めた結果、これ以上減少させることができなくなっていることが伺われる一方で、被服費・教育費・医療費等の子どもの成長に必要な費用も切り詰められていることが伺われる。
 - 特に「エアコンをつけないようにしている」という家庭は 6 割を超えている。「これ以上対応のしようがない」という深刻な意見も得られた。
 - 2022 年 11 月の物価高騰影響を調査した際と比較して、電気をつけないようにしている、お金を借りるようになったという回答の割合が増加した。
- ✓ 子どもの成長や生活への悪影響を感じている家庭は約 6 割に達した。内容としては、子どもにとって必要な栄養がとれていないが最多（60%）となり、健康上の問題がすでに出ている家庭も約 3 割となった。また、子どもの体験活動（学校外の学び等）、学用品の購入、部活動への参加等にも 4 割から 5 割程度悪影響があると回答した家庭があった。
- ✓ 保護者の心身の状態も悪化している。ストレスや無力感にとらわれている保護者が約 6 割にも達し、

「未来に希望が感じられない」と回答している。孤独を感じている保護者も5割となった。体調面でも疲れや不眠に悩まされており、健康上の不安がないという回答は4%にすぎなかった。

- ✓ 2021年の調査と比較して、気持ちや体調の問題についての回答は全て悪化していた。
- ✓ 賃金について、昨年と比較して賃金上昇していない家庭が8割を超えた。今後賃金上昇の見込みがないという回答も約8割となった。国は企業に賃金上昇の要請をしているが、困窮子育て家庭の保護者には全くいきわたっていないことがわかる。
- ✓ 自由記述では、1000件を超える回答が寄せられた。
 - 子どもの教育費・進学費や生活に最低限必要なものへの支援を求める声、あらゆるお金が足りないという悲鳴が多数寄せられた。特に借金問題に悩まされている家庭が増えつつある可能性が示唆された。
 - また、就労支援やスキルアップへの支援を求める声も寄せられた。
 - 物価高騰に賃金上昇が伴わない、物価高騰の終わりが見えない、物価高騰が深刻であるのにコロナ禍と比べて支援が少ないことを訴える声があった。

長引くコロナ禍の影響の次に物価高騰が襲ったことで、困窮子育て家庭の状態は最悪の状態になりつつあることが判明した。すでに切り詰められる生活費は切り詰めた後であり、必死に働いても賃金が上がらない中で、これ以上家庭の工夫や保護者の頑張りでは生活が改善する見込みがないという状態である。保護者の心身の状態の悪化や子どもの学びへの悪影響はすでに過去調査（2021年6～7月、2022年11月）の時点でも確認されていたが、子どもの健康への悪影響も広がっている。

特に今回調査で注目すべきは、以下の問題である。まず、第一に、困窮子育て家庭の食事の問題が深刻になっている。2019年全国家計構造調査によれば、母子世帯（子ども1人）の平均的な1か月の食料への支出は47,512円であるのに対して、今回の調査では、同じ世帯人数で「1万5千～2万円未満」（19%）が最多となり、約4割が1か月の食費2万円未満で生活していることが判明した。食事が取れていないことによる子どもの健康問題や親の体調悪化はすでに起きており、この夏、さらに多くの困窮子育て家庭で栄養失調や健康被害に陥ることが予測される。国だけでなく、全国の自治体もこの状況を認識し、給食がなくなる夏休みの前に早急に食事支援を行う必要がある。

第二に、借入れの返済や新たな借金の問題が困窮子育て家庭の次の問題として広がってきた。コロナ禍で困窮家庭向けに支援された緊急小口や総合支援金の返済が始まる中で、物価高騰、賃金上昇の見込みがない状態となり、子育て家庭は新たな借金に手を出さざるを得ない状況になりつつあると推測される。行政からの生活保護の利用促進のメッセージの発信、行政からの貸付の返済免除や、生活困窮者自立支援制度における家計相談の利用促進等、まず国においてすみやかな対策が求められる。

また、賃金の問題に着目すべきである。すでに政府は企業に賃上げの要請をしており、大手企業を中心に徐々に賃上げの動きが広がっている。しかしながらその動きは鈍く、困窮子育て家庭には全く届いていない。物価高騰は平等に全家庭を襲う中で、困窮子育て家庭の賃金は上昇していない。この状態の改善には行政の緊急の支援が必要である。生活保護等の公的扶助は依然として相当使いにくいのが現状であり、これらの制度の改善や、生活保護に代わる現金給付の仕組みが強く求められる。

さらに、物価高騰についても直接的な家庭支援が必要である。コロナ禍とは異なり、物価高騰による食費や光熱費の上昇には経済的な支援がほとんどないのが現状である。しかし、もはや困窮子育て家庭にとって、物価高騰もまた、深刻な「被害」となっていることが今回の調査から判明した。コロナ禍のように全ての家庭への支援ではなく、子育て中の困窮家庭に適した物価高騰対策を緊急に検討いただきたい。

最後に、そもそもこうした子育て中の困窮家庭の状態を行政は随時把握すべきと考えられる。当団体の支援にたどり着いている家庭は全国でも一部であり、その外ではさらに深刻な事態が進行していると推測される。こうした全国的な状態を、行政が随時モニタリングし、すみやかに施策を打つというEBPMの体制の確立が求められる。

3. アンケート結果概要

3.1 回答者の基本属性

世帯構成は「母子世帯（離婚調停中、別居中などを含む）」（90%）が9割、「ふたり親世帯」が8%である。生計を一にする家族の人数（回答者自身を含む）は、「2人」（37%）が最も多く、「3人」（34%）、「4人」（18%）が続く。

2023年に予想される世帯所得は、「100～200万円未満」（43%）が約4割と最多であり、「200～300万円未満」（26%）・「100万円未満」（17%）と合わせると、全体の8割超が世帯所得300万円未満である。2023年5月時点での貯蓄額として最も多かったのは「貯金はない」（35%）であり、半数超が貯蓄額10万円未満となっている。また、全体の45%が「借入れがある」と回答している。

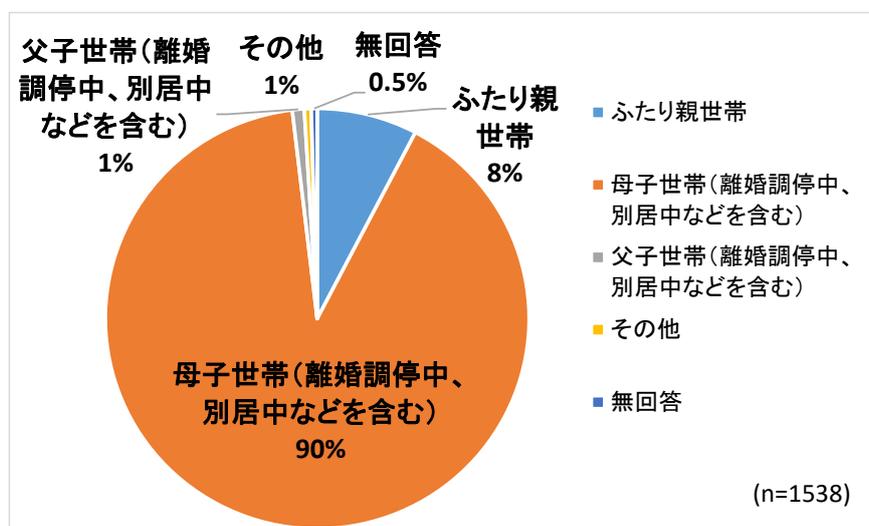


図 1 世帯構成

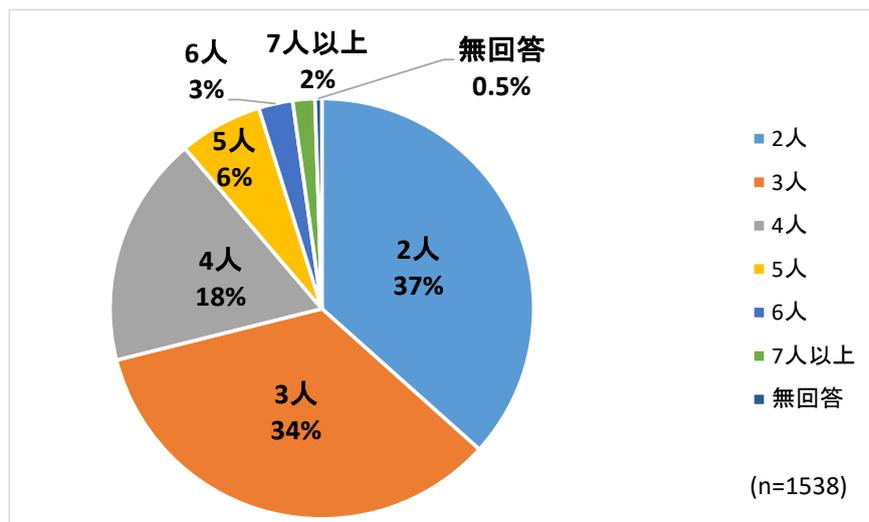


図 2 生計を一にする家族の人数

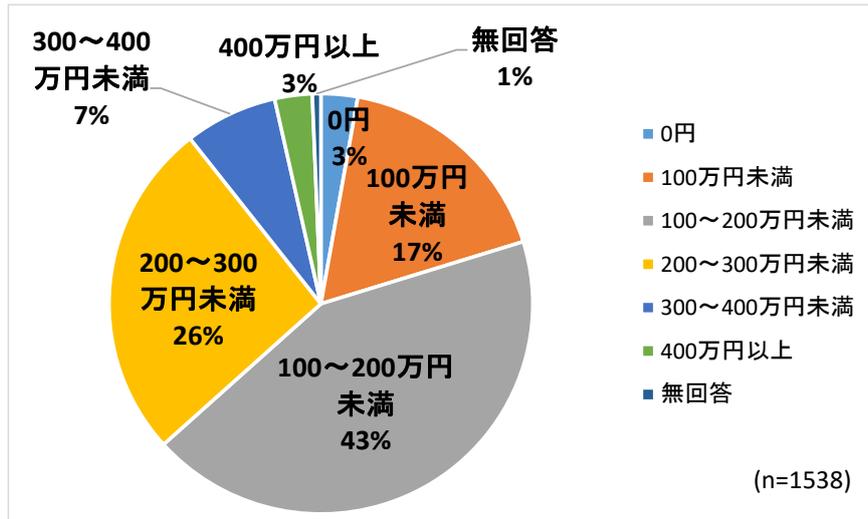


図 3 2023年の世帯所得（予想）

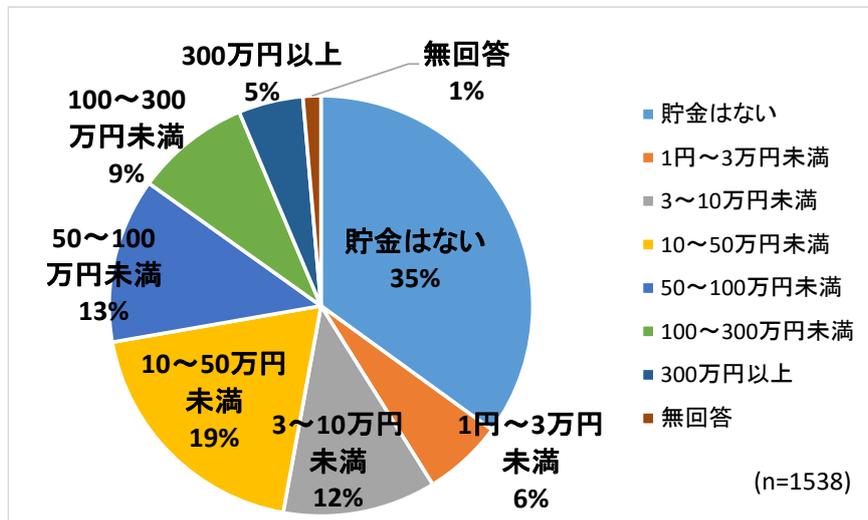


図 4 2023年5月時点での貯蓄額

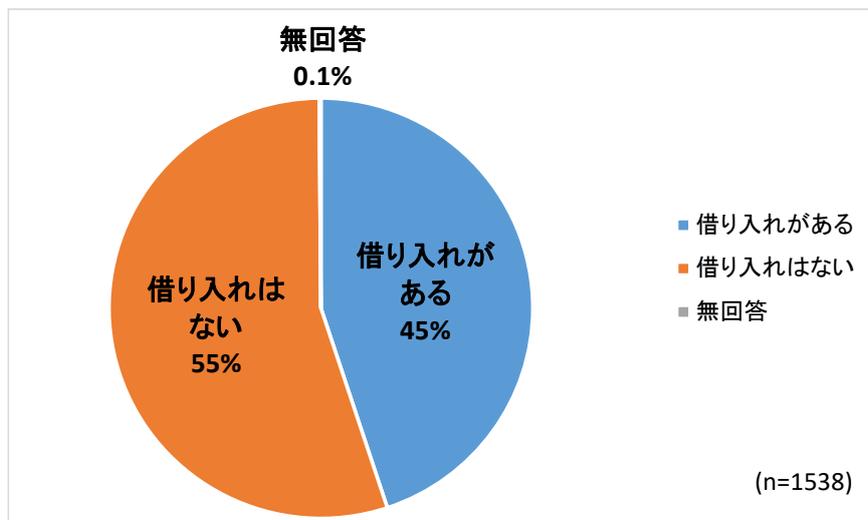


図 5 借入金の有無

3.2 子どもの夏休みの食事

子どもの夏休みの食事について、全体の9割超が、不安が「ある」(91%)と回答した。不安の具体的な内容としては、「子どもに栄養バランスの良い食事を与えられない」(88%)が最も多く、全体の約9割が選択している。次に多かったのは「子どもに十分な食事を与えられない」(60%)であり、キッズドアが2021年に実施した調査と比較すると、回答割合は46%から60%に増加している。給食がなくなる夏休み期間、保護者が子どもの食事の質・量の両面を不安視していること、特に量の面での不安が増大していることが明らかとなった。

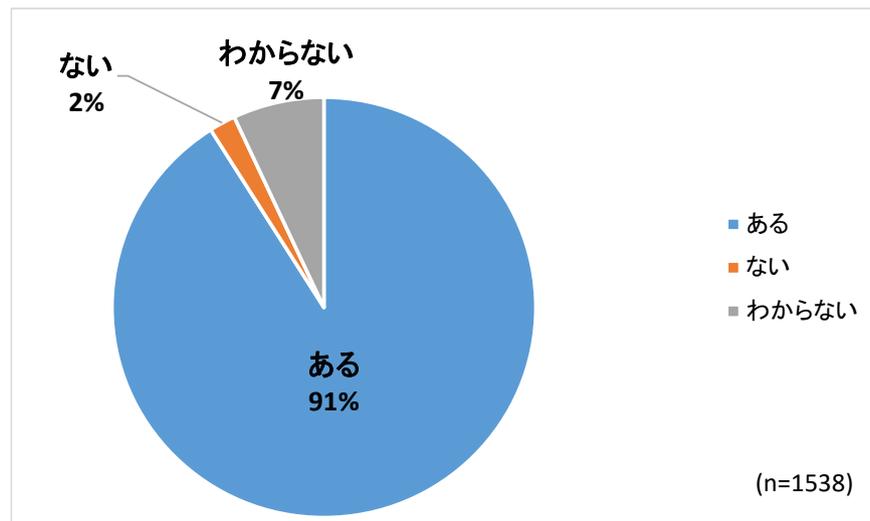


図6 子どもの夏休みの食事についての不安の有無

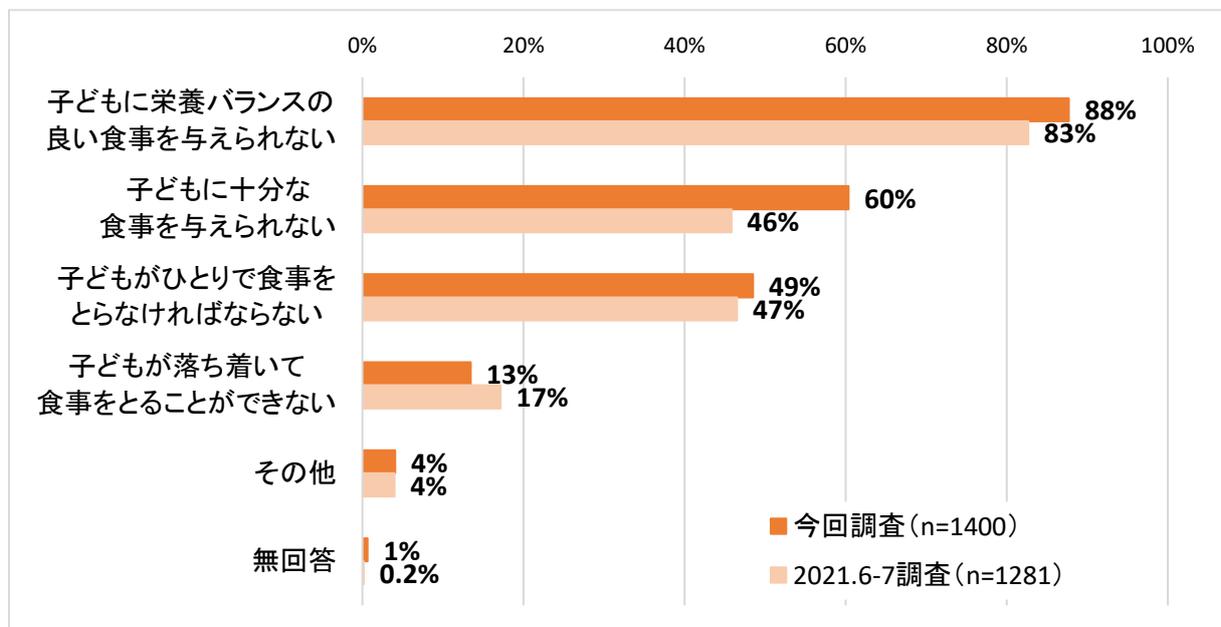


図7 夏休みの食事の不安の具体的な内容（複数回答）¹

¹ 子どもの夏休みの食事についての不安が「ある」と回答した方が対象。

3.3 物価高騰やコロナ禍の家計への影響

3.3.1 家計全体への影響

最近の物価高騰の影響を受けた家計の状況については、「とても厳しくなった」が80%、「やや厳しくなった」が19%と、ほぼすべての回答者が厳しくなったと感じている。

物価の高騰を実感している項目としては多く挙げられたのは、「食費」(99%)・「光熱費」(91%)・「日用品費」(78%)であった。家計維持のために出費を減らしている項目では、「被服費(衣類、靴など)」(82%)・「食費」(75%)・「日用品費」(60%)が上位となっている。

物価の高騰を実感している項目と出費を減らしている項目を比較すると、「食費」・「光熱費」・「日用品費」等では、物価の高騰を実感している割合よりも、実際に出費を減らしている割合が低い水準に止まる。一方で、「被服費(衣類、靴など)」・「娯楽費」・「教育費(塾・習い事・部活など)」・「医療費」等では、物価の高騰を実感している割合よりも、実際に出費を減らしている割合が高い。食料品や日用品、電気・ガスといった最低限の生活必需品の価格が高騰する中で、家計を維持するために、衣類や教育、娯楽、医療などの出費を減らさざるを得なくなっている状況が伺える。

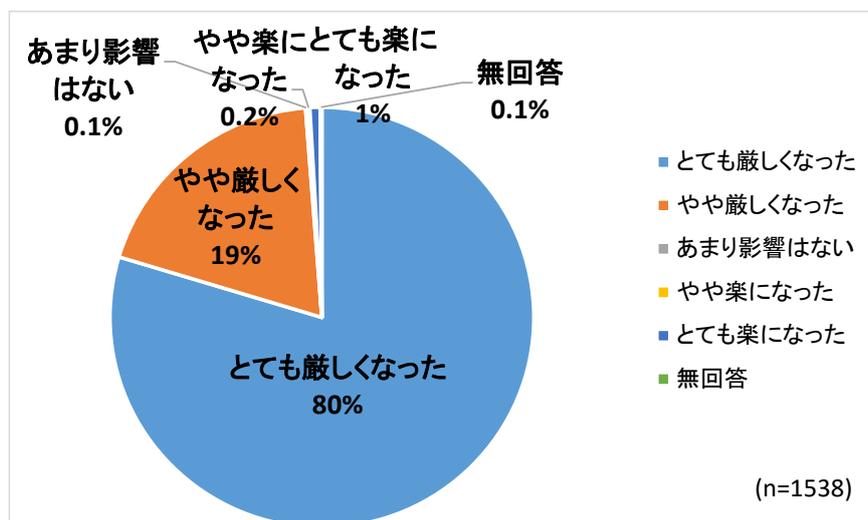


図 8 物価高騰の家計への影響

表 1 物価の高騰を実感している項目と家計維持のために出費を減らしている項目
上位3項目(いずれも複数回答)

物価の高騰を実感している項目		家計維持のために出費を減らしている項目	
1 食費	99%	1 被服費(衣類、靴など)	82%
2 光熱費	91%	2 食費	75%
3 日用品費	78%	3 日用品費	60%

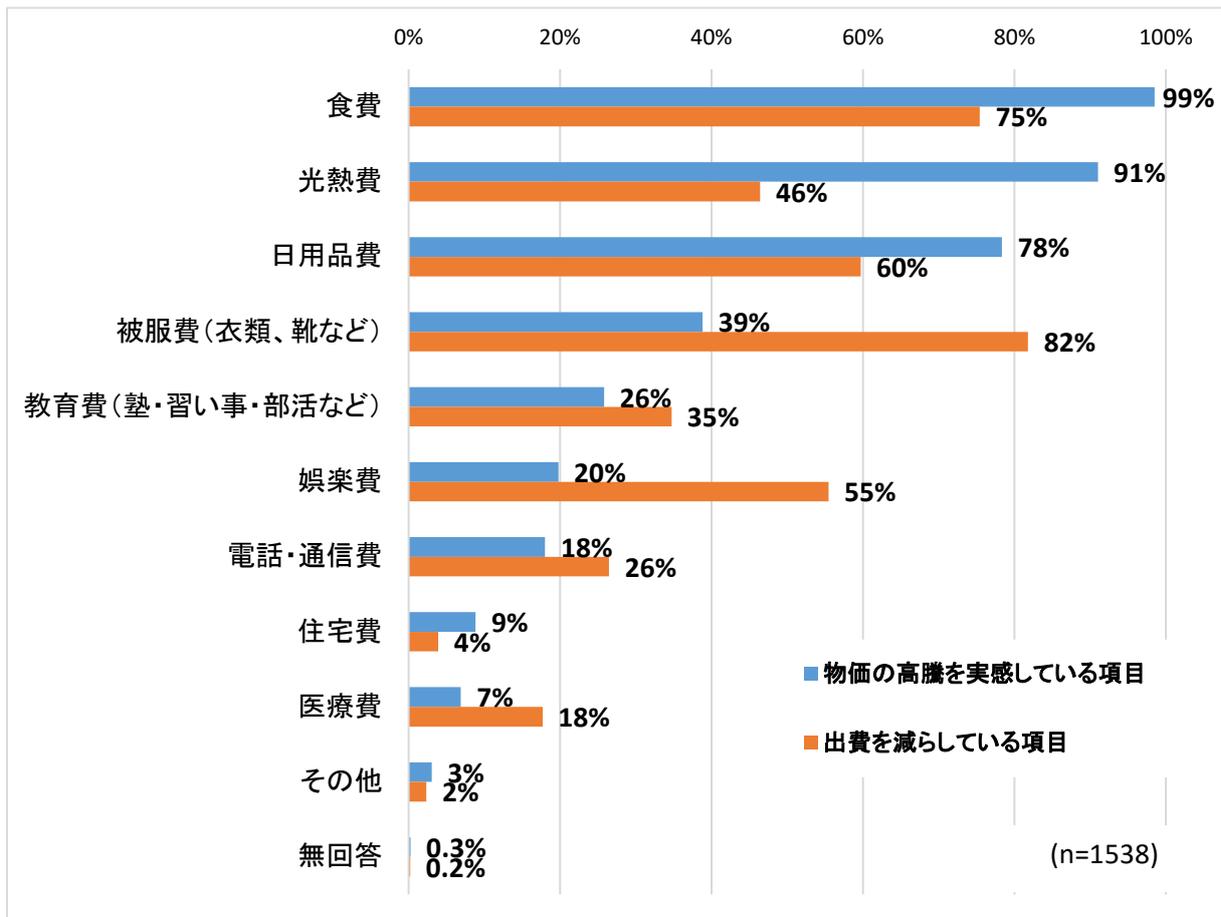


図 9 物価の高騰を実感している項目と家計維持のために出費を減らしている項目
(いずれも複数回答)

3.3.2 日々の食事への影響

去年の夏と比べた日々の食事の変化として最も多く挙げられたのは、「外食を減らした」(69%)であり、「おやつを減らした」(66%)、「肉・魚を減らした」(64%)が続く。「野菜を減らした」(51%)・「乳製品を減らした」(47%)も半数程度であり、子どもの健康や成長に必要な栄養が十分にとれていない可能性がある。また、「子どもに食べさせるために親の食事を減らしたり抜いたりしている」(54%)も半数を超え、保護者の健康への悪影響も懸念される。

本調査では、家族全員の1か月の食費について、「現状の食費」と「家族の健康維持のためにかけたいと思う食費」の2つを尋ねている。2人家族では、現状の食費として最も多かったのは「1万5千～2万円未満」(19%)であり、約4割は1か月の食費2万円未満で生活している。また、家族の健康維持のための食費では「3万～3万5千円未満」(18%)が最多であった。3人家族では、現状の食費として最も多いのが「2万5千～3万円未満」(16%)であり、約半数が1か月の食費3万円未満で生活している。家族の健康維持のための食費は「3万～3万5千円未満」(17%)が最多となっている。なお、調査方法や時期等が異なるため参考値ではあるが、2019年全国家計構造調査によれば、母子世帯(子ども1人)の平均的な1か月の食料への支出は47,512円、母子世帯(子ども2人)で55,425円、夫婦と未婚の子ども1人の世帯で78,007円となっている²。

² 調査概要・結果等は総務省統計局を参照 (<https://www.stat.go.jp/data/zenkokukakei/2019/index.html>)。母子世帯は母親と未

物価高騰とコロナ禍の日々の食事への影響は、「物価高騰の影響の方が深刻」(60%)との回答が6割、「どちらも同じくらい深刻」(38%)が約4割であり、物価高騰がコロナ禍以上に困窮子育て家庭の食生活に打撃を与えていることが分かる。

物価高騰の影響が深刻だと感じる具体的なエピソードとしては、食費が上がっていること、食事の量・質に悪影響が出ていることが挙げられた。その結果、子どもの栄養面を心配している、保護者の食事を減らしているといった声も寄せられている。また、食費以外に光熱費等も高騰しているため、食費を減らさざるを得ないといった意見もあった。物価高騰に賃金上昇が伴わないこと、物価高騰の終わりが見えないこと、コロナ禍と比べて支援が少ないことを訴える回答も多く見られた。コロナ禍で失業や減収を経験した後、状況が改善しないままに物価高騰の影響を受けている苦しい状況を伝える声もあった。

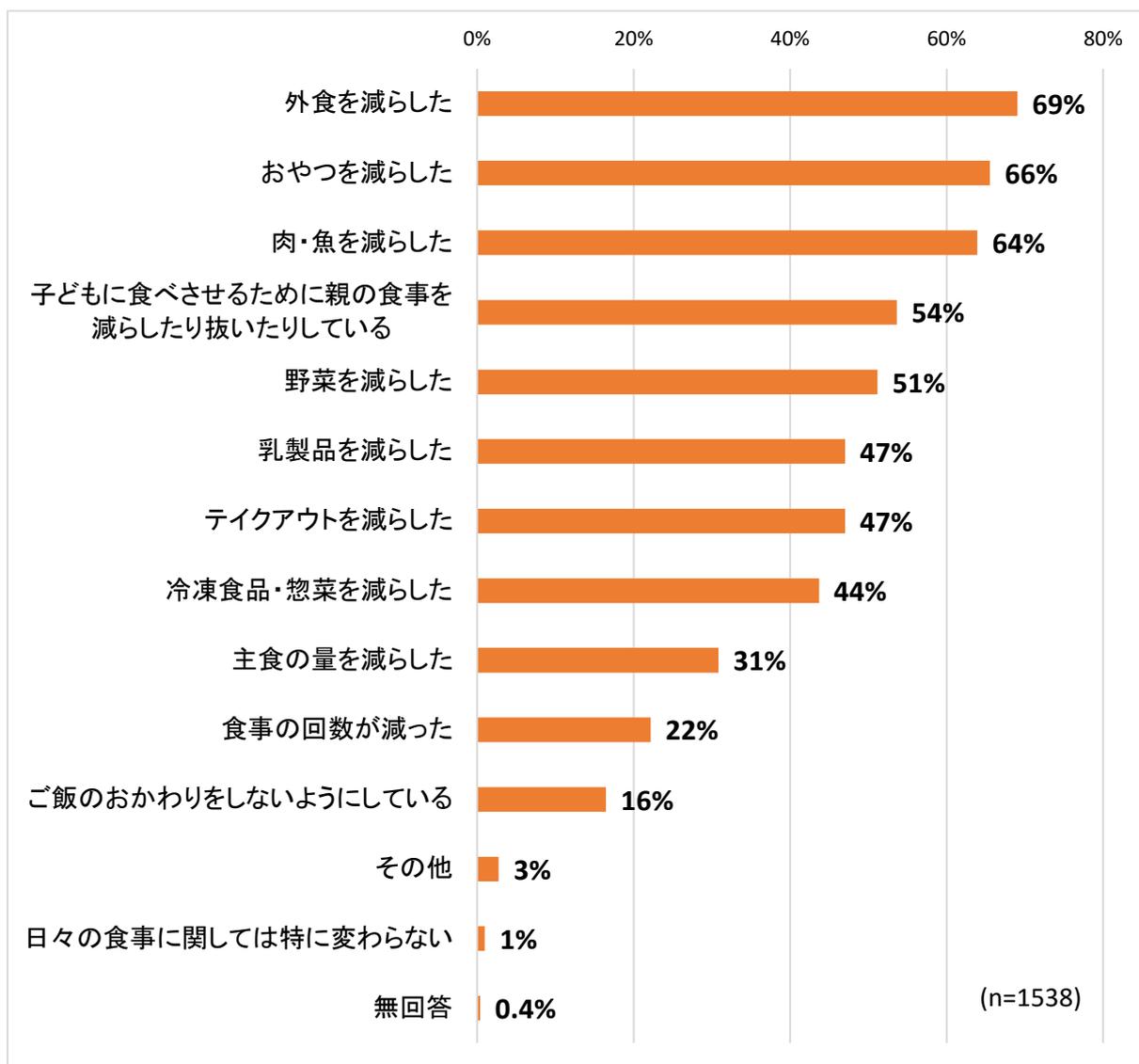


図 10 去年の夏と比べた日々の食事の変化 (複数回答)

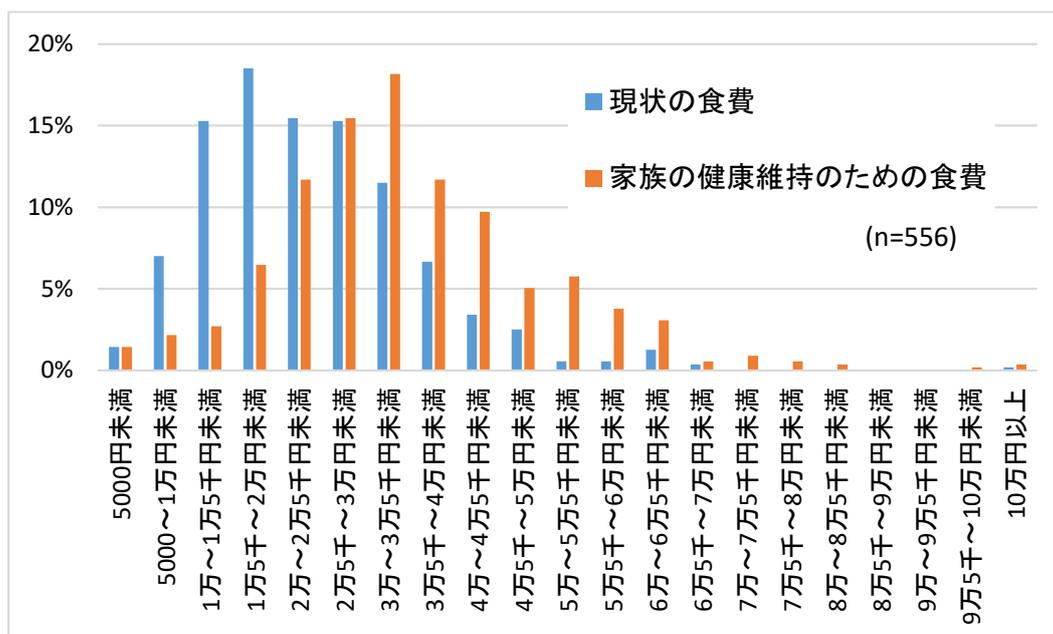


図 11 家族全員の1か月の食費 (2人家族) ³

表 2 家族全員の1か月の食費 (2人家族)

	現状の食費	家族の健康維持のための食費
5000円未満	1.4%	1.4%
5000～1万円未満	7.0%	2.2%
1万～1万5千円未満	15.3%	2.7%
1万5千～2万円未満	18.5%	6.5%
2万～2万5千円未満	15.5%	11.7%
2万5千～3万円未満	15.3%	15.5%
3万～3万5千円未満	11.5%	18.2%
3万5千～4万円未満	6.7%	11.7%
4万～4万5千円未満	3.4%	9.7%
4万5千～5万円未満	2.5%	5.0%
5万～5万5千円未満	0.5%	5.8%
5万5千～6万円未満	0.5%	3.8%
6万～6万5千円未満	1.3%	3.1%
6万5千～7万円未満	0.4%	0.5%
7万～7万5千円未満	0.0%	0.9%
7万5千～8万円未満	0.0%	0.5%
8万～8万5千円未満	0.0%	0.4%
8万5千～9万円未満	0.0%	0.0%
9万～9万5千円未満	0.0%	0.0%
9万5千～10万円未満	0.0%	0.2%
10万円以上	0.2%	0.4%
総計	100.0%	100.0%

³ 生計を一にする家族の人数が「2人」であり、かつ、「現状の食費」・「家族の健康維持のためにかけたいと思う食費」の両方に回答した方が対象。

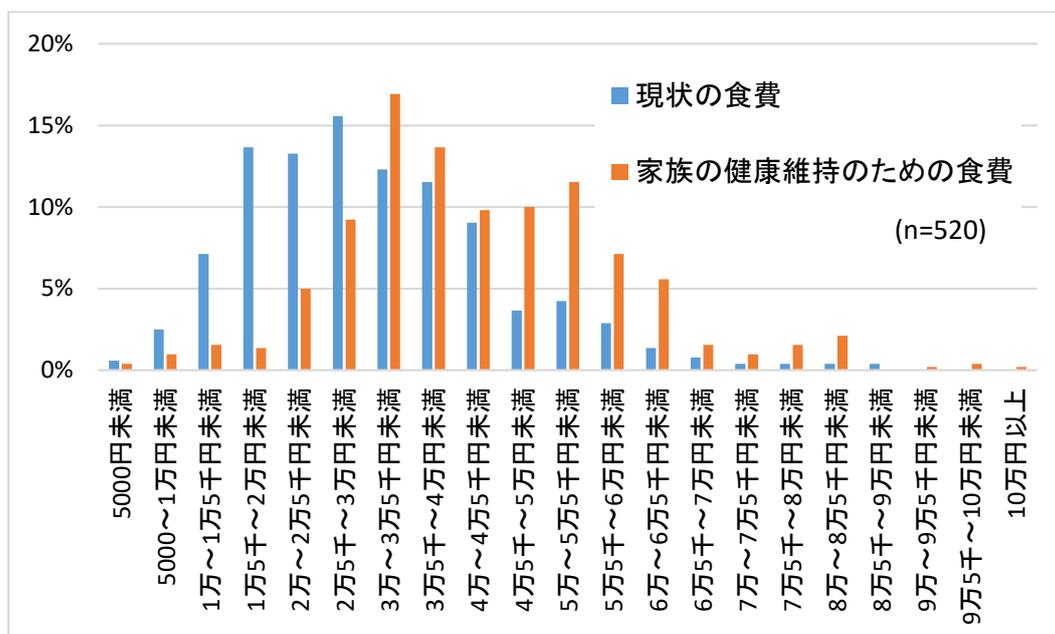


図 12 家族全員の1か月の食費 (3人家族) 4

表 3 家族全員の1か月の食費 (3人家族)

	現状の食費	家族の健康維持のための食費
5000円未満	0.6%	0.4%
5000～1万円未満	2.5%	1.0%
1万～1万5千円未満	7.1%	1.5%
1万5千～2万円未満	13.7%	1.3%
2万～2万5千円未満	13.3%	5.0%
2万5千～3万円未満	15.6%	9.2%
3万～3万5千円未満	12.3%	16.9%
3万5千～4万円未満	11.5%	13.7%
4万～4万5千円未満	9.0%	9.8%
4万5千～5万円未満	3.7%	10.0%
5万～5万5千円未満	4.2%	11.5%
5万5千～6万円未満	2.9%	7.1%
6万～6万5千円未満	1.3%	5.6%
6万5千～7万円未満	0.8%	1.5%
7万～7万5千円未満	0.4%	1.0%
7万5千～8万円未満	0.4%	1.5%
8万～8万5千円未満	0.4%	2.1%
8万5千～9万円未満	0.4%	0.0%
9万～9万5千円未満	0.0%	0.2%
9万5千～10万円未満	0.0%	0.4%
10万円以上	0.0%	0.2%
総計	100.0%	100.0%

4 生計を一にする家族の人数が「3人」であり、かつ、「現状の食費」・「家族の健康維持のためにかけたいと思う食費」の両方に回答した方が対象。

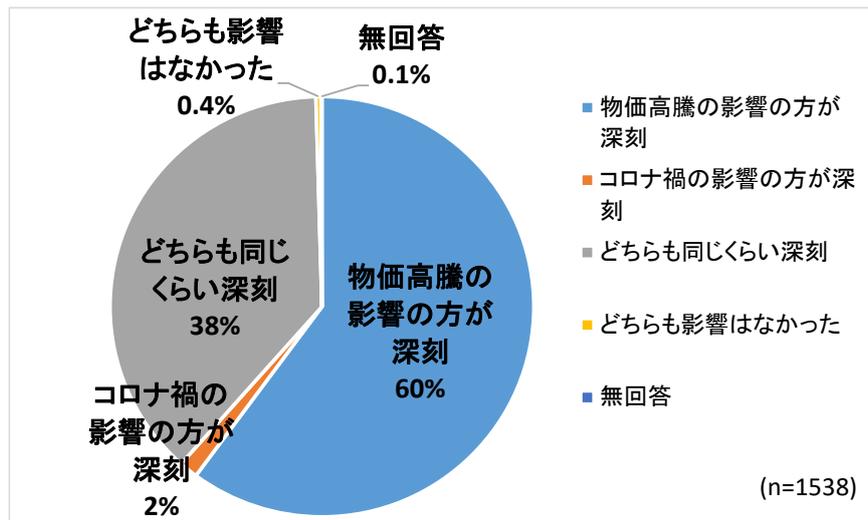


図 13 物価高騰やコロナ禍の日々の食事への影響度

表 4 物価高騰の日々の食事への影響の深刻度
(自由回答、全 1226 件、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **食費が上がっている**

- 1月の食費が3千~5千円上がってしまった。
- コロナ禍では、収入が減り購入に躊躇う事がありましたが、現在の物価高騰は、今までよりセーブし、お肉類を我慢しても月の出費が万単位で増えているので本当に買う事自体控えています。
- コロナ禍の時よりも食品や光熱費に高騰で月に1万円以上の出費増で節約にも限界が来ています。
- 以前と同じものを買っているのに、会計が以前より増額している。減らそうにも最低限の買い物のため、困ってしまう。

➤ **食事の量・質に悪影響が出ている**

- 1日3食から2食にしたり、物が高くてなかなか買えず安めに手に入れるのが困難になりギリギリの生活をしています。
- 電気代やガス代なども上がったので、更に食料品まで、肉や魚はほとんど買わず、週に2.3回、食事をぬいてます。
- お腹がすいても水を飲んで誤魔化してた。1日1食の時もあった。空腹で日中も寝て誤魔化してた。
- 一人暮らしをしながら大学に通う子どもが二人、高校生一人おります。一人暮らしの子ども達はアルバイトをして学費生活費食費に充てていますが、物価高騰で食費を削らざるを得ず、1日一食になっています。高校生の息子もお弁当が毎日必要ですが、食費がかさみ、光熱費もあがり、本当にこれからどう生活していけば良いか途方に暮れます。
- 物価が上がってから弁当のおかずが1品だけになり夕飯のおかずも減った。また、朝食も食べられなくなるかもしれない。
- 平日の夜ごはんは週に1回から2回は納豆だけ、ふりかけだけの食事がある。子供たちは文句も言わず理解してくれているので助かるが、やはり成長期なので子供たちには申し訳ない気持ちでいっぱい。土日も3食必要で特にお昼は白米だけ炊いてふりかけや納豆で食べてもらってる。

- 毎日常備したい乳製品や卵などが難しく、何かのイベントか、月イチ程度で抑えてる状態。
- 今は基本的な食材のみでいきてます。ヨーグルトとか加工食品は買えません。調味料も塩です。肉と野菜を最低限買ってます。魚は高く買えません。フルーツはずっと買ってません。
- 今までと同じ食事が用意できなくなって、今は給食を頼りにしています。

➤ 子どもの栄養面を心配している

- コロナ禍も大変だった記憶はあるけど、物価高騰は本当に厳しいです。光熱費も影響しているし食材や日用品も生活に直結しているし、これ以上削ると健康の方に影響が出ます。現に、体調を崩しやすくなりました。
- 子供達のお菓子ひとつにしても、値段が1.5倍くらいはするので、持たせてあげられないし、普段の食事安い野菜などで、栄養は極度に偏っていると思います。給食がない、高校生達は栄養不足からかイライラしたり家庭内でもケンカが絶えないです。
- コロナ前よりも、買物へ行くことを躊躇うようになってきました。成長期なので健康面がとても心配ですが、何もかも価格が高騰していて、思う存分食べさせてあげられないのが残念に思いつつながら生活しています。
- 物価高騰により、食費をおさえなければならないが、食べ盛りの男の子2人がいるため、毎日どうやってかさ増ししようか考える日々です。成長期にきちんとした栄養を与えられてないかも...と思うと、すごく心配です。
- 物価高騰の日々の方が明らかに鶏肉や豚肉の買う頻度が減り、子どもの食事の栄養が心配です。
- 物価高騰により、食料の質を更に落とすしかなく、育ち盛りの子供にも栄養不足を感じます。学校の健康診断でも、子供は痩せすぎで注意を受けましたが、どうしようもない状態です。

➤ 保護者の食事を減らしている

- まずは子供たちが3食きちんと食べられるように、自分が1食抜いたり、作れる野菜はプランターで作り、節約している。
- 子供がいると子供には食べさせないといけないので、以前と変わらない食事やお弁当を与えるために、私が食事を食べないこともある。
- 食べ盛りの子供がいるので、自分の量は減らしている。
- 子どもに満足出来る食事を与えてあげられない。他の家庭ではお菓子が当たり前だが我が家では厳しい。母は食費を抑える為にほとんど食べていません。なので、下の子は大人はご飯を食べなくても大丈夫だと思ってしまっている。栄養不足で、会社の定期検診の結果が悪くなった。通院する予算が勿体無い。
- 私のおかずがなくなった。ご飯に塩をかけて3食食べている。

➤ 光熱費等の高騰が影響している

- 光熱費の高騰により、コロナ禍よりも電気代が、凄く高くなり困っている。節電、節約しても焼け石に水の状態で、食費に回すお金が減ってしまった。子供が、空の冷蔵庫を何度も開閉する姿を見ると情けなくなります。
- 光熱費がすごく上がっているので、どうしても食費を削らなければいけなくなりました。コロナ禍は収入が激減したので、厳しい生活が続いているだけという感じです。
- 光熱費含めて全ての物価が高騰し、食費を削る他ないです。
- 光熱費があがりすぎて、料理の回数の制限をしています。水筒に水道水をつめて子供にもたせています。夕方の値引き時間にスーパーをのぞくようにしています。

- コロナ禍ももちろんつらかったのですが、物価は想像以上に高くなっていて買いもののたびに何品か買うのを諦めることがあります。日用品や学用品など必要なものが高くなると買わないわけにはいけないので、その他で我慢しようとしてしまいがちで、その我慢が食費だったりします。

➤ **物価高騰でも賃金は上がらない**

- コロナはある程度一時的だが、物価高騰はそうではないと感じるし、収入が上がらず支出だけが増え続けている。
- コロナ禍では仕事も変わらずあり、給料もありました。給料が上がっていないのに物価高騰しているのは明らかにダメージが大きい。子供が7人いて服やおむつにミルク、ほんとに買えなくて困っています。
- 給料は下がり、物価は上がり、でもダブルワークすると収入が増え手当がもらえない。
- 給料は変わらないのに物価はどんどん高くなっていき、光熱費も上がり、苦しすぎます！
- 物価高騰でも収入は増えていないため、支出を抑えるために食費を削る必要があり、安い食材や値引き商品を探して買い物をしている。

➤ **物価高騰がいつまで続くのかわからない**

- コロナ禍では家族が家で食べる回数は増えたもののある程度の見通しはあったが、物価高騰はいつまでどのくらいなのか分からず不安である。
- コロナは一過性のものだと思ってましたが物価高騰はこれからも続くと思うし食費、電気代、ガス代、水道代全て上がりましたが給料は上がりず、もともと最低限で暮らしていたのでこれ以上削れるところもなく…。子どもの教育費もこれから上がってくるので転職も考えていますが、子どもの負担が増えない職種は限られており悩み中です…。
- コロナ禍はいつかはよくなるしコロナに罹らなければ仕事もあった。物価高騰はゴールが見えないのにどんどん上がる一方であらう。冬場の電気代で3万請求されたのはほんとにつらかった。シングルだとやりくりが難しい。
- 値上げが一度でなく、二度三度と続いていくため、不安でなりません。
- 物価高騰は先も見えず、まだ上がり続け、子供が大きくなるまでと考えると気持ちが落ち込まない日はありません。

➤ **コロナ禍と比較して物価高騰への支援が少ない**

- コロナ禍では収入はなんとか変わらずにこられたし、給付金などもあったので過ごせた。しかし物価高騰となると同じ収入では家計が厳しくなり、給付金も現実ないので、色んな事を削り、我慢してやりくりしている。
- コロナ禍では休校になったりと何かと食費や光熱費などかかっていたが補助金があったりしたので乗り切れた。現在の物価高に関しては全てが値上がりしており食材の購入を諦める事がとても増えた。
- コロナ禍では補助金や借り入れ金はすぐ対応してくれたが、物価高騰は徐々に生活資金が失われる為補助金等も決まるまでがゆっくりな感じがする。
- コロナ禍は何かと助成金が出たりフードパントリーも配送して貰えました。今は助成金支給無し、フードパントリーの配送サービスもなくなりました。難病で体調安定しないので受け取りに行けない月があります。頼る身内はおらず障がいのある二人の子ども、受験生を抱えてただただ困窮の日々です。
- コロナ時期も大変でしたが支援金で、どうにか生活できました。今は給料も変わらず支援も少

なく物価高で食費代が大変です。子供の体調が悪くても給食を食べてほしくてムリに行かせてしまいます。

➤ **コロナ禍の方が深刻またはどちらも深刻だと感じている**

- コロナで2回雇い止めにあいました。人件費削減の動きが見られ、とても悲しかったし、途方にくれました。
- コロナの時は仕事がほとんどなくなった。まだ仕事があるだけでしたが、苦しい。
- コロナ禍の時は学校が学級閉鎖などが何度もあり、物価高騰よりもコロナ禍の方が大変でした。
- どちらも深刻です。病気の子がいるのでパートしか出来ないで収入が少ないです。収入を上げることが難しい状況での物価高騰は、命の危機を感じます。
- コロナ禍で収入が減り、その後の物価高騰で本当に必要な食料のみ購入しています。フードパントリー等でいただいた食料で食べ繋いでいる状態です。
- コロナで失職、収入減→再就職できていないまま、物価高騰。コロナ前、共働きの頃とは比べ物にならない。
- コロナの影響から回復していない状態で、物価、公共料金の高騰があり、その中で子供の進学時期を迎えています。経済的な不安をいつも抱えています。その不安が心身に影響していると感じるが増えています。

➤ **その他**

- 子供が高校生になり毎日お弁当がいります。卵の値段の高騰が1番わかりやすいですがその他のお弁当の材料もすべて高くなりとても厳しいです。
- コロナ禍で一旦失業したが、その後再就職はできた。自分は物価高の方がジリジリと貯蓄できる金額が減り、影響が大きい。子供はまだ小学生だが、今後受験や進学のための出費をひとり親が捻出することの難しさを実感している。
- その分稼がなければいけなくなって、子供という時間が激減した。
- 外食やファストフード店の利用は一切出来なくなりました。塩むすびで空腹を満たします。
- 会計のことを考えると安価なものを選んでしまい、いつも同じ食材になってしまう。高くても買えないと親の言葉を気にしてこどもがお小遣いを使って自分の食事を賄うことがある。
- 食料品の高騰の影響は非常に大きい。お弁当やおやつも必要で以前より子どもの好きなものを購入するのを控えなければならなくなった。母子家庭になり11年だが、今が1番苦しいと感じる。
- 物価高騰は食費はもちろん、日用品、光熱費など生活のあらゆる所に影響があり、子どもがいるため簡単に減らすこともできないので本当に厳しいです。学校関係の支出にも影響が出つつあるので不安でたまりません。
- 重度のアレルギーがある息子の食べられる物は、高くなっても買わなくては仕方がないので、他の家族にしわ寄せが来てしまう。

3.3.3 食事以外への影響

物価高騰やコロナ禍の生活・家計への影響では、「エアコンをつけないようにしている」(64%)が最も多く挙げられた。「貯金ができなくなった」(59%)、「電気をつけないようにしている」(58%)、「子どもの成長に合わせた衣服や靴を購入できない」(48%)を挙げる回答者も多い。2022年11月にキッズドア

が実施した調査と比較すると、「電気をつけないようにしている」(51%→58%)、「お金を借りるようになった」(14%→19%)等の項目で回答割合が増加している。

電気代高騰を受けて、家庭でどのような対応をしようと思うかという質問に対しては、エアコンを使わない、温度設定を調整する、一つの部屋に集まって稼働台数を減らす、扇風機や保冷剤を活用する、家以外の場所で過ごすなど、エアコンの使用を極力少なくするような対応が挙げられた。エアコン以外の電気製品の使用を抑える、電気代以外の出費を抑えるといった回答もあった。一方で、エアコンを持っていない、できる節約はすでにしているなど、これ以上対応のしようがないという声も数多く寄せられている。

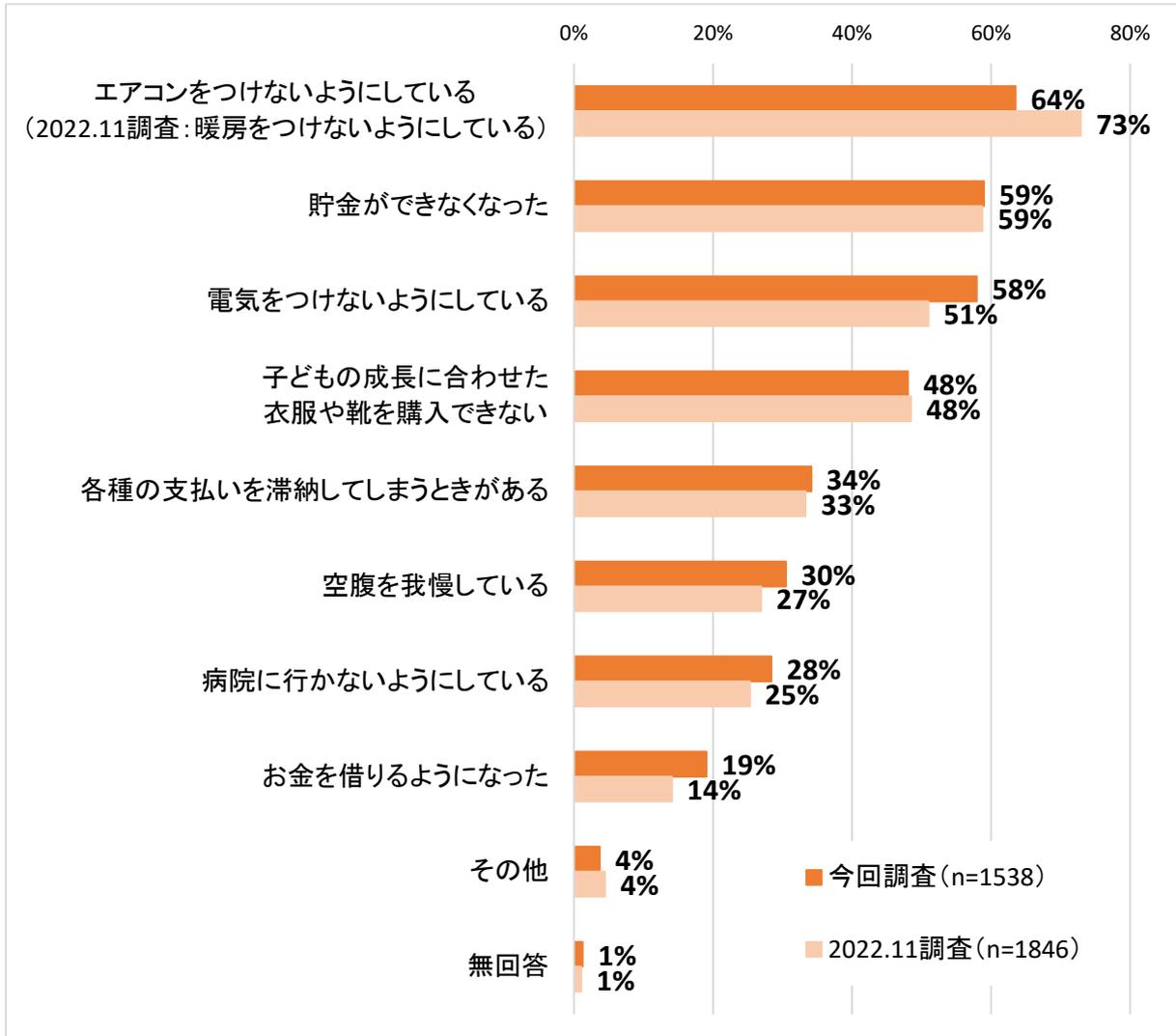


図 14 物価高騰やコロナ禍の生活・家計への影響 (複数回答)

表 5 電気代高騰を受けての家庭での対応
(自由回答、全 1352 件、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **エアコンを使わない、温度設定等を調整する**

- いつも通り、エアコンの我慢。
- エアコンは、子供が暑さに我慢できない時のみにする。
- エアコンは 35℃を超えないと点けない、早く寝る。
- エアコンの温度の設定をあげる。出来るだけ扇風機を使用。
- エアコンの設定温度を高くして、弱でつける。完全につけないと熱中症になると思うから我慢はできないかも。
- エアコンは 1 台のみ使用し、寝る際には必ず消します。高校生の子供がいるが、なるべく個人の部屋には行かずみんなで同じ部屋にいるようにする。
- エアコンを我慢。エアコンがなくてはならなくなった時はリビングで全員集まって就寝しようと思っています。極力扇風機ですめばいいなと思ってはいますが。部屋の電気は消して家族全員で一部屋でなるべく過ごそうと思います。
- エアコンを使用せず窓を開けて生活していますが、母子家庭ですので防犯面で不安があります。
- 今も暑いけどエアコン我慢してるので子供がアセモまみれ。

➤ **エアコンなしで涼しく過ごす工夫をする**

- うち引きこもりの子どもが 2 人います。熱中症が怖いのですが、なるべくエアコンは使わないで扇風機や保冷剤でやり過ごすようにしたい。けど去年も電気代が上がるという事で、それをやったら娘が熱中症になり点滴になったので上手く考えたいです。
- エアコン、扇風機をなるべく我慢し、うちわ、扇子を多用したい。
- エアコンはありませんが、扇風機をつける時間を減らすため保冷剤を首にします。
- 昨年も冷暖房を使用しなかったが今年も使用しない。扇風機さえも使用しない。うちわを使用したり水に足を付けて暑さを凌ぐ。
- エアコン代の節約のため、窓ガラスに断熱材を貼りました。築 35 年の古い賃貸アパートのため、ガラスが薄く、夏は暑く冬は寒いです。

➤ **家以外の場所で過ごす**

- エアコンつけない。できるだけ公共の施設で過ごせるときはすぞす。
- エアコンをつけないよう、子どもたちに児童館に行ってもらおう予定。
- エアコンをつけないように図書館等で週末は過ごそうと思っている。
- 屋内型ショッピングセンターの休憩ベンチで過ごす。
- お店に行ってフードコートで閉店まで勉強し過ごし、家に帰るかな。

➤ **エアコン以外の電気製品の使用を控える**

- エアコンの使用を減らす。電気はまめに消す。電気を使わないようにする。
- IH コンロなので工夫して自炊すればするほど光熱費がかかる。生野菜を食べるようにした。
- いらぬ箇所のブレーカーを落としたり、使わないコンセントは抜いたり、出来ることからしていくつもりだが、微々たるものだと感じる。
- エアコンやテレビ、電気などの使用は最小限にする。炊飯器の保温をつかわないようにする。ドライヤーの使用時間を減らそうと思います。
- お風呂など、電気なしで入っています。脱衣所の電気のみ。リビングだけ電気を使うように

し、電力会社の節電プログラムに参加して時間帯で気にして節電しています。エアコンも我慢しています。

- こまめに電気を消す。冷蔵庫の温度を下げる。なるべく温めないで食事をとるようにしようと思っています。

➤ **電気代以外の出費を抑える**

- エアコン等の空調調整を我慢する事は、命に関わることなので、我慢できないと感じているので、食費代や日用品、衣服代金をさらに我慢しようと考えております。また電気をつけないように、日中は電気を全て消しています。
- 私の食事を減らしてエアコン代に回す。
- 息子の携帯を解約。
- 電気の対応はできないので、車の任意保険を解約しようと考えています。自賠責だけでキャンセルします。子供の学資保険も解約します。自転車の保険も解約して、子供に自転車乗らせないようにします。
- 電気代のためにパートを増やすしかないし病院への通院や薬も減らすしかありません。
- 電気をつける部屋は一つに制限かけます。あまりに厳しくなればまた習い事辞めてもらうかもしれません。

➤ **これ以上対応のしようがない**

- エアコン、扇風機など持っていないのでこれ以上何もできる気がしません。
- いつか死ぬかも。
- エアコンはアパートに備え付けですが入居してから 7 年一度もコンセントを入れたことがありません。電気も極力つけていません。普通の家庭では想像できない節約をしています。
- エアコンも、どんなに猛暑でもつけたことはありません。あとは、電気をつけない時間を増やすくらいしかなく、困っています。
- これ以上節約できない。エアコンは使わないと生命の維持にかかわる。
- もう何もできないことがない、どうすることもできないので電気代が怖い。
- 既にエアコンを我慢したり、電気をつけないようにしたりしてきているので、これ以上どうしたらいいか頭を抱えています。
- 対策しようがない、助けてほしい。
- 子どもに持病がありエアコンをつけないという選択肢が難しい。なので正直どうしたらいいのか困っている。

➤ **その他**

- 元々エアコンは限界まで我慢している。部屋は暗い状態。お風呂は毎日入らない。トイレを流すのは何回かに一回。
- 9 時には完全消灯する。エアコンつけるのが怖いのでつけないかもしれない。元々節電しているのにこれ以上高騰すると聞いてため息しか出ない。
- 電気をギリギリ迄点けず、出来るだけ早く寝て明るくなったら早く起きて物事をする。
- かかった電気料金を表にして、家族に共有し、節電を全員で意識している。先月より減っていたらみんな喜んで喜ぶ。エアコンはギリギリまでつけない。

3.4 物価高騰やコロナ禍の子どもへの影響

去年の夏と比べた子どもの成長や生活への悪影響では、「悪い影響が大いに出ている」(19%)・「悪い影響が出ている」(40%)と、全体の約6割が何らかの悪影響が出ていると回答している。悪影響の具体的内容としては、「子どもにとって必要な栄養がとれていない」(60%)が最多であった。「子どもが風邪などの病気になりやすくなった」(29%)・「子どもの身長や体重が増えていない」(25%)との回答も約3割であり、健康上の問題が顕在化しているケースもあると考えられる。この他に、動物園や美術館などの「学校外の学びの機会を減らした」(53%)が半数超、「友達と遊びに行くのを減らした」(43%)・「体験活動が減った」(43%)・「文房具などの学用品を減らした」(42%)が4割超と、子どもにとって必要な学び、体験、友人との交流などが十分にできていないことが示唆されている。

本調査では、子どもへの影響として、中学生または高校生の子どものいる家庭を対象に、経済的理由で部活動に入るのを諦めた、途中でやめた、お金のかからない別の部活動に変更したといった経験の有無も尋ねている。その結果、約4割がそのような経験が「ある」(41%)と回答している。

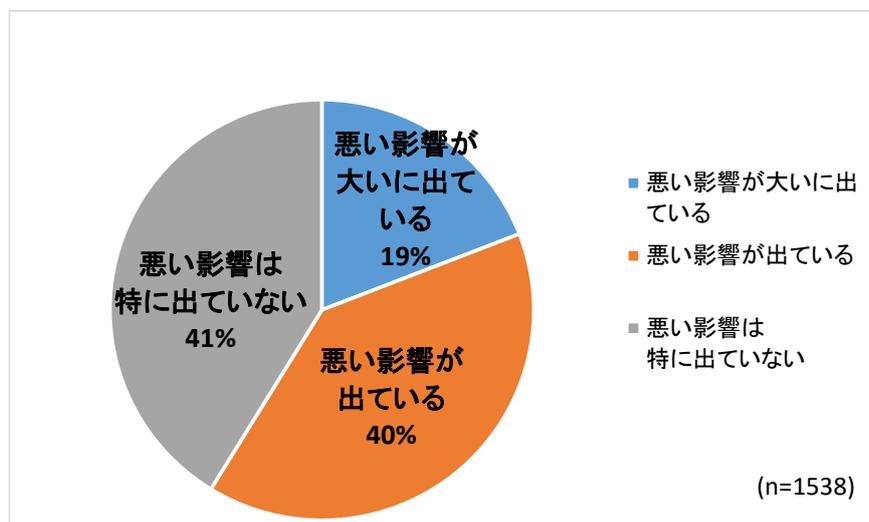


図 15 去年の夏と比べた子どもの成長や生活への悪影響

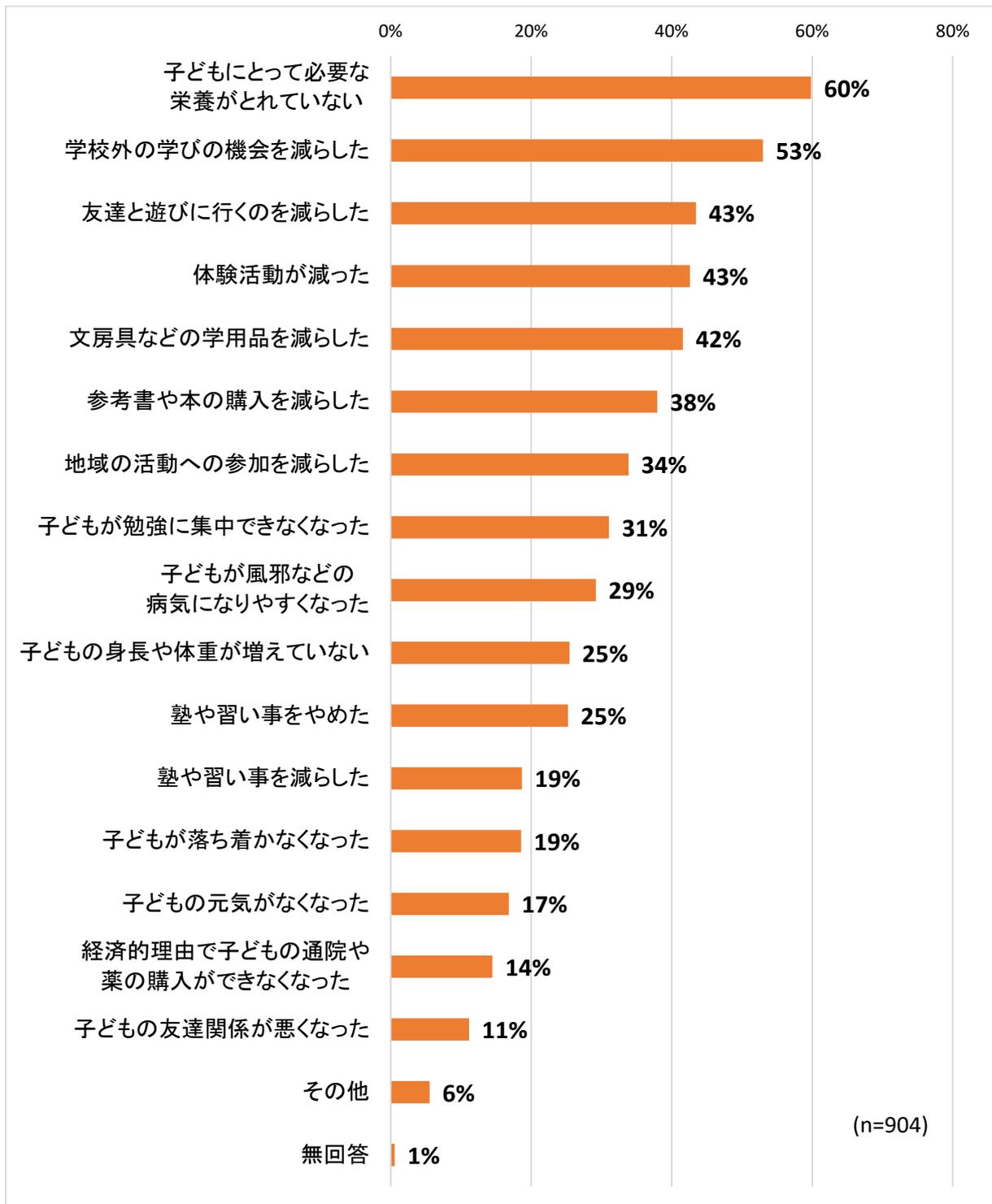


図 16 悪影響の具体的な内容（複数回答）⁵

⁵ 去年の夏と比べた子どもの成長や生活への悪影響で、「悪い影響が大いに出ている」または「悪い影響が出ている」と回答した方が対象。

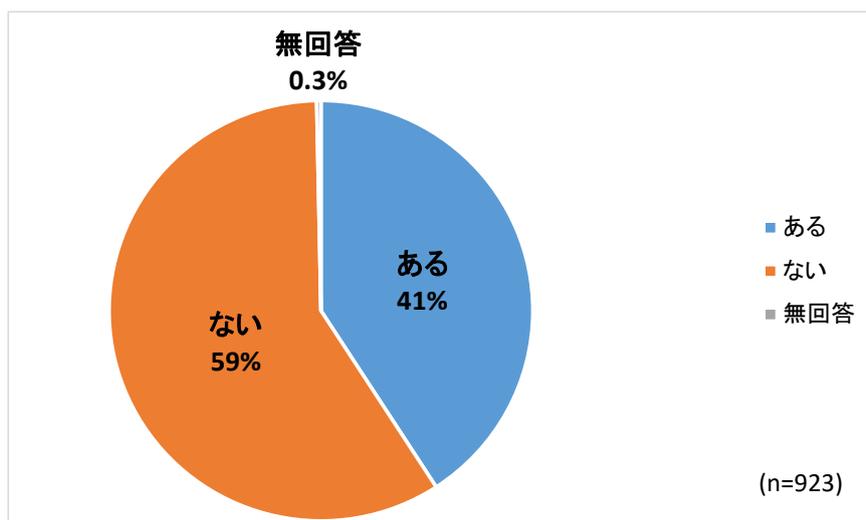


図 17 経済的理由で部活動に影響が出た経験⁶

3.5 保護者の現在の気持ちと体調

保護者自身の現在の気持ちでは、「大きなストレスを感じる」(68%)、「未来に希望が感じられない」(65%)との回答が多く、いずれも6割を超えた。「自分を無力だと感じる」(59%)・「イライラしている」(56%)も半数超、「孤独を感じる」も45%と半数に近く、多くの保護者がネガティブな気持ちを抱いていることが分かる。「未来に希望が感じられない」をはじめ、これらの5項目すべてにおいて、キッズドアが2021年に実施した調査より回答割合は増加している。「特に問題はない」との回答は4%に止まった。

保護者自身の現在の体調では、「常に疲れを感じる」(83%)が8割超と最も多く、「よく眠れないことがある」(62%)が続く。現在の気持ちと同様に、「特に健康上の不安はない」との回答は4%と低い水準となっている。

⁶ 中学生または高校生の子どもがいる方が対象。

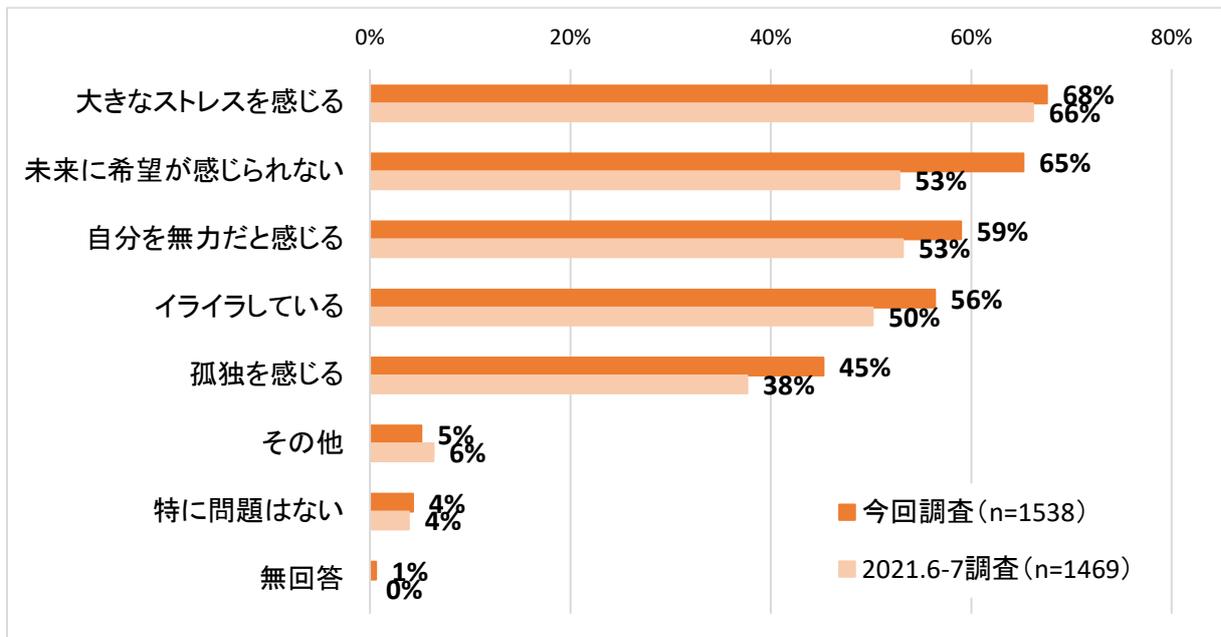


図 18 自身の現在の気持ち（複数回答）

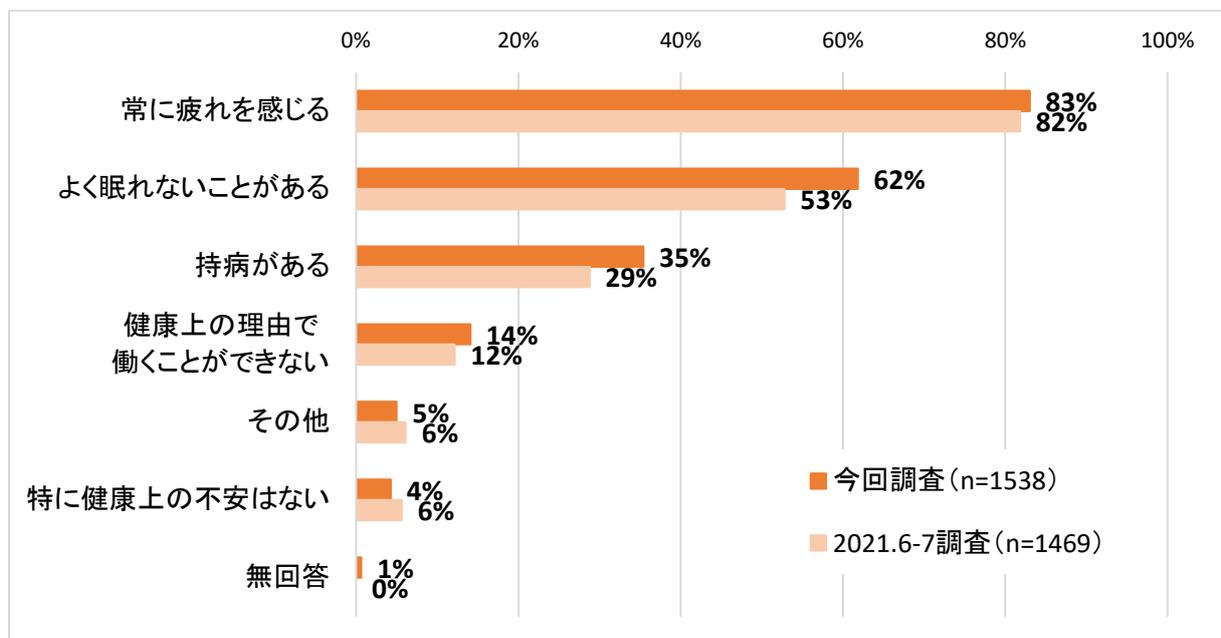


図 19 自身の現在の体調（複数回答）

3.6 賃金上昇の現状と見込み

去年の夏と比べた賃金上昇の状況では、「賃金上昇しなかった」（85%）との回答が 8 割を超えた。また、今後半年程度での賃金上昇の見込みとしても、「賃金上昇見込みなし」（76%）が約 8 割となっている。大手企業をはじめとして賃金引上げの動きが広がり、賃上げの流れを中小企業や非正規雇用まで波及させるべく政府も取組を進めてはいるが、本調査の結果からは、その恩恵が困窮子育て家庭の保護者にまで行き渡っていない可能性が示唆された。

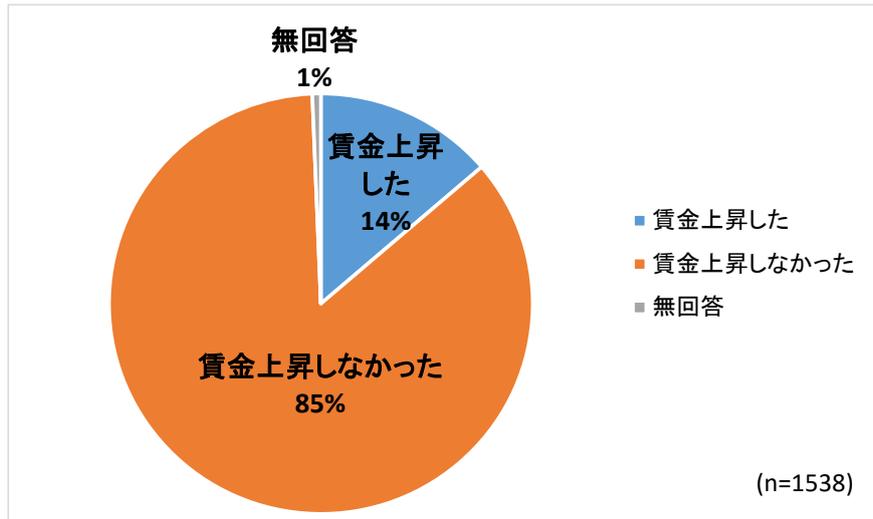


図 20 去年の夏と比べた賃金上昇の状況

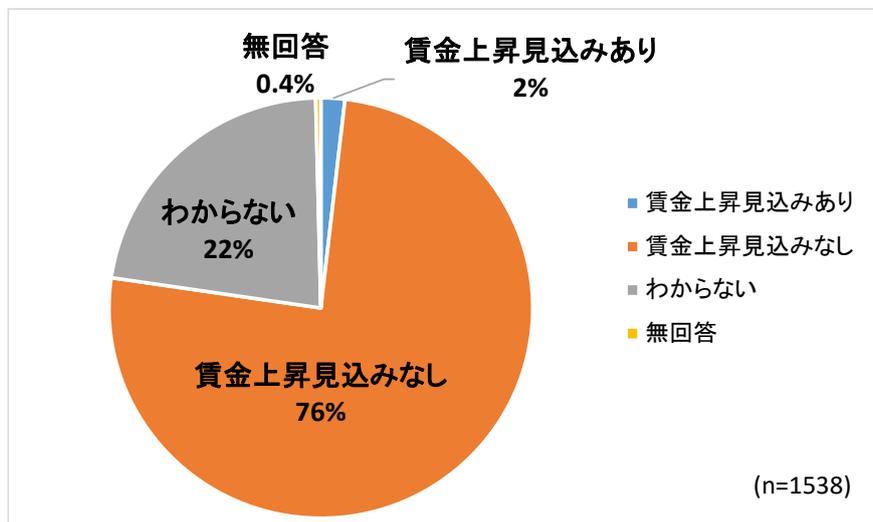


図 21 今後半年程度での賃金上昇の見込み

3.7 現在困っていること、支援がほしいこと

現在困っていること、支援がほしいことについて自由記述で尋ねた結果、1000件を超える回答が寄せられた。食料や日用品、子どもの衣類・靴・学用品、光熱費、住宅といった生活に必要なあらゆるものの確保に困っており、支援を必要としているとの声が多数あった。また、お金を借りないと生活できない状況を訴える人も見られ、給付金等の金銭的支援を求める声も多い。

子どもに関するものとしては、高校生・大学生の生活や学習の費用、大学進学、不登校、部活動や塾・習い事、イベント等の体験について支援がほしいとの回答が多く寄せられた。

保護者については、心身の両面で不調を感じているとの回答が多い。就労に関連するものとして、賃上げを求める声、非正規雇用の不安と正規雇用を希望する声、就労やスキルアップへの支援を求める声も多く見られた。また、離婚後に養育費が支払われないこと、同じような境遇の人との交流の場や相談場所がほしいとの回答も見られた。

この他に、手当受給や課税に関する所得制限の見直しを求める声、多子世帯や障害児への支援がほしいといった声も寄せられている。

表 6 現在困っていること、支援がほしいこと
(自由回答、全 1074 件、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 食料

- 子供に申し訳ないくらい食事の量をへらしています。お腹いっぱい食べさせたいです。
- 長期休みは、やはり給食がない分ご飯の心配しかありません。自分はどうにでもなるが、子供には食べさせてやりたいです。
- 成長期の息子たちなので、お米はすぐになくなってしまいます。また、お肉も食べたい盛りですか、なるべく野菜とかも混ぜながらかさ増しして誤魔化しているような状態です。私もご飯を抜く事が増えました。助けて頂きたいです。
- お腹がすいている。水をたくさん飲んだりしてその場凌ぎはしているが、根本的な解決にはなっていない。食材の支援は是非お願いしたいです。
- お米など、子供の成長にとって必要な主食の支援があれば助かります。
- とにかく主食のお米や麺類、あとは普段買ってあげられないお菓子など…普段使いができるような食品が切実に欲しいです。
- 我が家は中学 1 年生の娘と小学 6 年生の娘がいます。8 月は児童扶養手当も児童手当も支給されません。夏休み期間は給食も無く、更に節約しなければなりません。叶うならば、食料品の支援をお願いします。

➤ 日用品

- 日用品が買えない。シャンプーやリンスは水を足して使っている。洗濯洗剤も高くなっているから洗濯回数を減らしている。ご飯にありつけない日が多い。
- 日用品の支援があると良いと思う(トイレトペーパー、ティッシュペーパー、シャンプー・リンス、ボディソープなど)。
- ナプキンなどすぐなくなるから欲しいです。食品以外にもギフト券などがあると日用品とか購入できるのでありがたいです。
- 日用品の支援があればありがたいなと思います。最近トイレトペーパーが高いので毎日使うものが助かります。あとは可能かどうかはわかりませんが病院に行くとお金がかかるので常備薬があればいいなと思います。

➤ 子ども用品(衣類、靴、学用品等)

- 靴を買ったり、子どものために使う資金がほしいです。どんどん成長するのでなんかきついかもと言われた時にすぐ買ってあげられない事があったりしてほんとに申し訳ない。娘もお金がないとわかっている。だから何か買ってあげるとお金ないのにごめんねって言われます。私こそごめんねって毎回思っています。
- 子供の洋服を買えないので悲しい思いをさせているような気がします。もちろん何処か遠くへ出掛けることも無くなりました。この先どうしていけばいいのかわかりません。たまに一家心中も考えてしまいます。
- 学校で購入する国語辞典、漢字辞典、リコーダー、習字道具などの支援があると助かります。
- 学用品が少しでも頂けると助かります。鉛筆や消しゴム、絵の具など学校で使うようなもの。また、来年度小学校に入学予定の息子がいてランドセルの情報がありましたら教えて欲しいです。
- 中学生になると制服や学校指定の物が増えるのでそんなに購入出来ない。おさがりを譲って貰える様な場があれば助かります。
- 子供が成長期もあり、体操着やジャージ、靴などの買い替えも負担が大きいです。特に体操着

などは高いので大変に思います。中学生になり食欲も出てきてあれも食べたい、これも食べたいなど言うようになってきているので物価高騰はかなりの負担になっています。

➤ **光熱費**

- ガス代や電気代が上がる事に対して、政府からなにかしらの支援が欲しい。
- プロパンガスは元々高いのに今は今までみたいに使っていたら払えなくなる位高いです。プロパンガスにも都市ガスと同じように支援してほしいです。
- 光熱費の高騰に対する経済的な支援が欲しいです。電気代やガス代など節約するのは生活の質がかなり悪化してしまう。
- 光熱費の助成、減額をしていただきたいです。それだけで食費にまわせたりするので助かります。
- ライフラインでは水道料金のみ、母子家庭の減免がありますが、電気やガスにも減免制度があれば大変助かります。
- 電気代やガス代の高騰は、食品や日用品に比べ上がり方が激しく、できる手立てがほぼなく、辛く感じる。補助金を継続して欲しい。今年の冬以降どうになってしまうのか心配です。

➤ **住宅**

- 民間の賃貸住宅の家賃の補助が少額でもあるとうれしいです。
- 物価高騰、光熱費高騰などの影響でもちろん生活は困窮しているが、1番の問題は住居です。家賃が高騰し続けていて、家賃の支払い、住居の確保が1番難しい。
- 賃貸に住んでいる為、毎月家賃負担が重い。家賃が払えず住居を失う可能性がありいつも不安。
- 都営住宅などに入居したいが当選しない。住宅手当の支援があると助かります。
- 和歌山県在住ですがシングル家庭で民間の賃貸に入居中ですが収入に対してかなり圧迫しており家賃補助が少しでもあればとても助かります。生命保険等も自力では加入出来ないのが現状で、独身からずっと正社員で働いているが常に経済的に苦しい状態で常に考え込んでしまいます。

➤ **生活のためのお金**

- お金が全くなく、借金生活。常に胃が痛い思いをしています。子供に不自由な生活をさせています。
- コロナのときにあらゆる機関からお金を借りてやり過ごしたため、借金まみれでもう借りるところもない。今月非課税世帯子供2人分10万円が振り込まれるが、家賃滞納や冬タイヤを購入したときのお金、灯油代の滞納に消えて何も残らない。高校の集金すら滞納しているので、いつかの支援ではなく長期の支援をお願いしたい。
- 子どもの生活レベルが他の家庭と変わらない未来になって欲しい。お菓子だって我慢してます。お肉を食べさせてあげられず納豆です。勉強を頑張っているのに子ども全員を自分一人で高校に行かせてあげられるのか。スポーツが好きなのに、借金をして遠征に行かせています。これからどんどん膨れ上がるであろう借金にとっても不安です。
- 長男は高校生で毎日お弁当。とても食費がかかる。次男は中学三年生でこれから受験でお金がかかる。長女は中学1年でこれから修学旅行の積立もかかる。お金を借りないと生活出来ない。返すこともなかなかできないから自転車操業になってしまう。何を節約できるのか、これ以上節約のしようもない。少しでもお米などの支援があると助かります。文房具や靴とかもあると嬉しいです。

- 現実的にお金が欲しいです。受験生もいますし、きちんとした栄養のある食事をさせ、暑い日にはエアコンをつけてあげたいです。
- いつ入るかかわからない給付金より、毎月安定的な支援が欲しいです。物価高騰対策の3万円も検討から決定更にそれから遅過ぎて、あてにしているのかもわからず…
- 国からの現金給付をもっともって欲しいです。何もかも決定から給付、支給されるまでにとても時間がかかるのでしんどいです。

➤ 高校生・大学生

- 2026年には児童手当が高校生にも給付されるニュースを見たが、今現在の高校生には当てはまらない。現時点での高校生にも何かしら待遇をして欲しい。中学生よりお金がかかり生活が厳しい。
- 子供の学校の課外授業などの参加費が高く、授業料などと合わせると月に10万円ほどになり、とても参加させられる状況ではありません。アルバイトをしていますが、その分勉強に当てる時間もなく負の連鎖です。今後大学進学のために塾に通わせるとなると私の月収を超えた金額が教育費として必要となります。通信制高校への支援の拡充をお願いしたいです。周りの人も通信制高校への理解が少なく、高額な学費を理解してもらえません。
- 子供の成長につれ食費がかさむ。高校生になり、新生活が始まり、友達つくるための交際費がかかるようになった。
- 高校を卒業し 医療証が切れ 児童扶養手当も無くなり、フードバンクの行ける場所が無くなりました。(対象から外れてしまった為) かかる費用は変わらないので、とても苦しいです。
- 大学生のいるひとり親家庭にもご支援下さると助かります。大学生は研究、資格勉強等とてにかく忙しいです。バイトをする時間ありません。ご理解頂けると嬉しいです。
- 同居はしていませんが、1人暮らしの大学生がおります。私自身の生活も大変ですが、大学生も大変です。アルバイト代をもらっても物価高で必要最低限の日用品を購入し、食事の回数を減らす事はよくある事だと言っています。大学生への支援も検討いただけるとありがたいです。

➤ 大学進学

- 大学の学費の支援。教育ローンを借りているがきつい。
- 子供が行きたい大学へ行かせる事ができない事。ただそれは医療系なので、贅沢はいえませんが、勉強を頑張っているのも、残念です。
- 今年長女が受験のため、受験の準備段階からお金がかかっています。子どもの教育にはお金を使ってあげたいですが、自分1人では限界があるため給付金や奨学金、支援金などを使えるように調べています。ですが条件や提出方法も様々なため、調べるのも一苦労しています。もう少しわかりやすく簡単になると嬉しいです。
- 大学受験を控えているので、受験代、入学費用、学費に関する支援、情報が欲しいです。
- 大学生の娘の奨学金。芸術系の大学で、作品製作の費用がかかるので思うように製作できない。やりたいことをやらせてやりたい。
- 子どもが18歳になり、国の支援も無く大学進学したが、国立大学でも学費がかかるうえ、地方大学に進学したので、二重の生活費もかかり大変である。母子家庭で大学進学から卒業させることは、本当に大変な事だと痛感してます。
- 子供が進学を諦めなくてもよくなるような、子供達に対してもっと国としてサポートがあったらいいのにと常々考えています。

➤ **不登校**

- 不登校の子どもの支援。子どもの暴力の相談場所。
- 引きこもりになっている子どもの学習サポート。
- 子供が不登校でカウンセリングやクリニックなどの治療にかかるお金と時間の負担が大きい。付き添っていつも同行するため、フルタイムの仕事は難しくパートでしか働けない。在宅でもできる仕事も中々条件が合う物が見つからず、どうにかして収入を増やしたいです。
- 子供が不登校でフリースクールに通っています。全額自己負担で厳しい状況です。東京都は助成が出来ますが、それ以外の地域でも助成して欲しいです。
- 子供が不登校になりました。もっと向き合ってやらないといけないと思いつつも、自分もフルタイムで仕事をするのが精一杯で、いつも見て見ぬふりをしています。フルタイムで働いても月に13万程度しか稼げません。せめてフルタイムで働けば普通に生活出来る世の中になって欲しいです。生きる為だけに仕事をして、終わりのない生活に疲れました。もういっそ死ねたらいいのに、と思います。生きることがつらいです。

➤ **部活動**

- 部活動を続けさせてあげる為に、シューズや道具を買う手助けをして欲しい。
- 野球用品は高くてなかなか買ってあげることができずお下がりのグローブを直しながら使っています。ズボンは穴が空くと膝あてをして使っています。2年使っているのに白だったズボンはだんだん色がくすんできています。練習着は1枚を使ったその日に洗い干して次の日に着るを繰り返しています。スポーツ用品などの支援は、難しいでしょうか？
- 子供に部活の道具が欲しいと言われたが、買えない。メガネだと部活に影響するのでコンタクトレンズが欲しいと言われたが高価なので、毎日つけられない。部活を辞めさせようか迷っています。
- 子供の習い事がさせられない分、学校の部活はやらせているが、用品を買い換えられない事がよくある。遠征の際の電車代もきつく、電車やバスの母子割引などが子供だけでもある社会になると良い。

➤ **学習・塾・習い事**

- 高校生一年生の娘に卒業後は、看護師の道をすすめています。何か学習支援などあるとうれしいです。
- 子供の塾の費用が年々高くなって、家計の負担です。辞めさせるのはかわいそうなので、何とか出していますが、限界です。
- 塾に通ってますが物価もあがり塾代かなりつらいです。少しでも支援してくれたらたすかります。
- 格安でオンライン英会話が欲しいです。
- 6月から小学校で水泳の授業がありますが、息子は泳げない為、嫌がっています。水泳の習い事をさせる経済的、時間的余裕がないため、短期教室を開催していただきたいです。
- 子供達の習い事に使えるクーポンなどがあれば嬉しいです。

➤ **イベント・レジャー**

- お金をかけなくても子供が参加出来るようなイベント情報がほしいです。
- 子供が参加できる料理の体験会などあったら嬉しいです。
- 子供と遊べる為に、遊園地などの割引券があれば有難いです。
- 子供に、いろいろな体験学習をさせてあげたいです。

- 家族全員で旅行など行楽にいけないので、子供に体験活動、経験活動の支援があるとうれしいです。宿泊費や飛行機代などサポートしてもらえると良いです。
- 金銭的に厳しくなると子供を出かける機会が減るので、子供が楽しめるイベントを引き継ぎ教えてほしい。

➤ 保護者の心身の健康問題

- 5月の半ばから病気になってしまい、医師から心も体も安静にと言われている為、フルで働く事が難しい状況です。全く働かないと生活ができないので時短で働いていますが、完治までの期間は人それぞれらしく、今後の収入や生活面での不安が強いです。
- うつ病で家事を思うように出来ない。一度座ってしまうと体が動かず洗濯物を干したり、お茶碗を片付けることができないので平日の夜や土日に家事手伝いなどのヘルパーさんが入ってくると助かります。
- ここ数週間、とりあえず体調が整わず、何もする気が起きないです。
- 何もかもが不安で眠れない日があります。疲れてご飯の用意もおろそかになる日もあります。掃除もあまり頻繁にできていません。
- 毎日が不安だらけで、子供が居ない時は落ち込んで泣いてばかりです。精神的な鬱になり、通院しています。こんな母親でみっともないと自分を責め、子供達が可哀想だと常日頃思っています。
- まずは子供を1人前にするために頑張っていますが、この先経済的なことが上手くやって行けるかとても心配です。年齢のこともあり自分の健康のことも不安で仕方ありませんし、去年父が他界し悲しみからも抜け出せていません。現在は持病が悪化し4月いっぱいパートを辞めざるをえず短期のバイトをしています。それがなくなったらどうしたらいいのか分かりません。就活をしていますが、病気を抱えながらの自分に合うものがなかなか探せずとても困っています。

➤ 賃上げ・雇用の安定

- とにかく物価上昇を止めるか賃金を今すぐあげて欲しい！それだけです。
- 保育士の給料をあげて欲しい。基本給18万円で朝から晩まで働いて毎日辛い。
- 勤務年数、業務量が増えても時給は上がらない。(正規職員は物価上昇を理由とした基本給アップをしている企業)フルタイムで働けないからと正規職員にしてもらえない。初めから時短ありきでは登用してもらえない。
- 雇用が契約社員なのでいつ契約を切られるかびくびくしながら過ごしていること自体が一番嫌です。
- 子供を大学まで通わすことができるか不安。非正規の賃金を上げて欲しい。できれば正規雇用してほしい。
- 正社員へ復帰したい。職が不安定。正社員になったと思えば、切られた。子どもが自殺未遂をした。
- 今の職場は賃金が安く、職場を変わりたいが人手不足もあり辞められない。賃金も上がる見込みもないので、これから先もっと支出がかかるのに貯金も出来ずに不安だけが募る。
- 物価高騰がいつまで続くのか…、非正規の時給は1円たりとも上がらない。このままでは本当に最低限の生活もできないです。

➤ 就労・スキルアップ

- お給料が安定していないことに困り不安を感じています。転職もかんがえていますが、自分に

できる仕事があるのか、と悩んでいます。

- 全国のひとり親を対象とした、技術を身に付けられる職業訓練のような支援があったら嬉しいです。東京は何かとそのようなものもありますが、私の住む石川県金沢市はひとり親支援に一切関心がないので何もないです。
- 食の支援もそうですが、在宅でも出来る仕事の情報やスキルアップの情報が欲しいです。
- 就業支援で資格などを取るための援助が欲しい。
- 頑張っているが、賃金が低く、食費、学費を稼ぎたいが今のままでは厳しい。シングルマザーでも両立できるいい仕事を紹介して欲しい!
- 収入が激減しているので、安定収入が得られる就職支援があればと切実に思います。

➤ 養育費問題

- 養育費の行政介入。いつ支払われなくなるかもしれない不安の中で生活するのは精神衛生上よくない。
- 養育費未払です。自営業者にも、養育費強制徴収が出来るように。子どもや生活のサポートの支援が低額で可能に。
- シングルで、子育てと親の介護をしている為、気が狂いそうです。未払いの養育費をきっちり回収したい。
- 元夫から養育費の支払いを拒否されていて弁護士に間に入ってもらっているがなんの進展もなく日々焦りしかない。毎月、支払いに追われ自己破産なども考えているが、子どもの就職に悪影響がありそうで悩んでいる。

➤ 相談や交流の場所

- ひとり親での辛い生活や育児の事など、気持ちを分かり合える人がいないので吐き出す事もできないせいか、精神的に辛い事が増えてきました。同じような立場の人との交流場がほしい。
- 家族で病気や障がいがあるので、将来が不安です。気軽に相談できる場所があるといいのですが…。キッズドアのような団体があることに対しては、感謝と希望を感じます。
- 経済的に厳しいことを誰かに相談しても解決策はほとんどないので、さらに精神的にもしんどくなります。安心して相談できる場所があるといいと思います。

➤ 課税や手当受給の所得制限

- 収入が少し増えた職場に転職したんですが、その分児童扶養手当が減らされるか無くなるので増やしても結果月に増える収入にはならなくなります。身体がしんどいだけです。
- 少し働くと、扶養手当が満額もらえなくなり、とても生活に影響します。頑張っているのに生活費が減るので厳しいです。そのような声を広める活動をしてほしいです。
- 物価高騰がかなり進んでいるにも関わらず、給与は上がらない。所得制限がかかり児童扶養手当はもらえず、本当に苦しいです。児童扶養手当の所得制限を見直してください。中学高校生の教育費がかなり高いため、経済的に苦しい春でした。これから先も不安でたまりません。児童扶養手当の所得制限を緩和して経済的な支援をして欲しいです。
- 週6日のダブルワークをしています。もう1つ増やしてトリプルワークも考えています。こんなに働いて非課税世帯ぎりぎりオーバーで税金を払っています。物価高騰なら、働かないと生活できない。非課税世帯ボーダーラインの金額も少し上げてほしい。非正規なので、ボーナスもないし、ひとりで子育てをしなくてはならない辛さ。きついです。
- 非課税にギリギリなれない中間層の母子家庭は金銭的に非常に苦しいです。給付金もない、控

除もない。1番辛い層です。

➤ **その他**

- 母子、多子世帯です。とても苦しいです。子供手当の増額も嬉しいのですが、少子高齢化のご時世。うちは子供5人です。多子世帯への手当なども考えて欲しいです。
- 発達障害の子どもがいるのですが、学校に行けず自宅学習のため教育費がかかっています。学校も国も理解がなく困っています。
- 病気(障害児)の子供がいるため、通院などでパートしか出来ません。その為収入が少なく不安定です。息子3人で食べざかりの息子がいるので、日々辛い毎日です。食料品や、日用品、学用品など本当に支援を必要としています。
- 仕事で家を空けている間の子供の面倒や遊び相手、勉強を見てやって欲しい。私が帰宅するまでの間、子供達が野放し状態になっていて不安です。
- お金の苦勞をしたくないし、子ども達にもさせたくないで、お金の勉強をしたい。
- 無休で働いていても支払いが間に合わず、いつも不安に感じている。子供の希望する進学をさせてあげられるか不安です。仕事ばかりしていて、子供たちに向き合う時間が欲しいです。家の片付け、掃除、子供達の金銭管理の教育など、できてないです。
- 学校の歯科検診で歯並びが悪いから医者に行くように指摘されて歯医者に行ったら矯正を勧められました。でも、保険適用外でどう支払うか、やるべきなのか、やれないのか、モヤモヤしています。
- 親が倒れたとき未成年の子ども自身が相談できる公共の窓口。「急な、もしも。」に備えたい。
- 親の介護と、子育てを1人で抱え、とても苦しい状況の時がある。自分が倒れてしまったらどうしようと、不安になる。
- 地域によって支援の差がありすぎる。田舎ほど支援がないので本当に困る。

以上